



even.jp.com

トップ	東北	内外	スポーツ	特集	KD	ふらっと	動画・シネマ
宮城	青森	岩手	秋田	山形	福島	広域	分野別
河北春秋	河北抄						

宮城のニュース

26

いいね! 4

海岸林再生に取り組む公益法人「オイスカ」名取で視察ツアー



太田名誉教授(左)から説明を受けるツアー参加者

国内外で植林事業を手がける公益財団法人オイスカ(東京)が、宮城県名取市内で取り組む海岸林再生プロジェクトへの協力を呼び掛ける視察ツアーが30日、行われた。ボランティアや外国大使館職員、企業関係者ら約160人が、東日本大震災で海岸林が失われた沿岸部の状況を見て回った。

ツアーは、全日本空輸とJTBが協力。一行はこの日、仙台空港に初登場したボーイング社の787で名取市入り。空から海岸林の様子を見た後、グループに分かれて沿岸部を巡った。

北釜地区では、やや高台にあったクロマツが津波をかぶった後も残っている場所を視察。講師を務めた太田猛彦東大名誉教授(森林環境学)は「地下水に左右されない、かさ上げした場所にきちんと植えることで、海岸林の減災効果は高まる」と説明した。

地元農家らの生計支援も狙うプロジェクトでは、寄付金を原資に農家らが10年間で50万本の海岸林の苗木生産を目指す。

市東部震災復興の会(鈴木英二会長)のメンバーで、苗木生産に参加する農業森清さん(57)は「木が残った場所は津波の速度が遅く、それで助かった人もいる。海岸林は海風を防ぎ、農業の面でも大切。ぜひ協力してほしい」と呼び掛けた。

里山保全のボランティア活動をしている井上文雄さん(64)＝川崎市＝は「被災の様子を見て言葉を失ったが、海岸林の必要性がよく理解できた。何か協力したい」と、ツアーの感想を話した。

2011年10月31日月曜日

印刷用ページ

用語解説: [オイスカ](#) [ボーイング社](#) [海岸林](#) [全日本空輸](#) [公益財団法人](#)

Keywords by [Weblio](#)

Ads by Google